

平成30年度 日向市立細島小学校学校関係者評価書

日向市立細島小学校

評価の観点	No.	評価内容	自己評価	学校関係者評価	学校評議員コメント	次年度に向けての課題・改善点
確かな学力の育成	1	学校は、児童一人一人に学力の基礎基本となる音読、漢字、言葉、計算などを確実に定着させている。	2.6	3.5	・ 朝の学習などを使って計画的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童に基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成することが課題である。</li> <li>・ 日々の授業改善、朝の時間を活用した繰り返し学習、学期ごとの補充指導により、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。</li> <li>・ 授業の中で、自分の思いや考えを表現し、周囲とともに協同して学ぶことができる場を設定し、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。</li> </ul>
	2	学校は、児童一人一人に分かりやすい授業を行い、考える力、判断する力、表現する力を身に付けさせている。	2.9	3.5	・ 参観授業でも、児童に自分の意見を発表させていてよいと思った。	
	3	学校は、読書活動や図書を整備を適切に行い、児童に本に親しみ、進んで読書に取り組む態度を育成している。	3.1	3.7	・ 読み聞かせなども取り入れられていてよいと思う。	
	4	学校は、宿題の工夫や宅習への支援などを行い、児童に日々の家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせている。	3.0	3.3	・ 保護者も家庭学習の習慣付けにもっと取り組むとよい。	
豊かな心の育成	5	学校は、「道徳」をはじめ教育活動全般を通して適切な働きかけを行い、児童に生命を尊重し、思いやりのある心を育成している。	3.1	3.5	・ 福祉の授業も行い、思いやりの心の育成によく取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊かな体験活動を通して、地域人材や「私たちの道徳」を活用した児童の心に響く指導を充実させ、規範意識や「思いやりの心」「奉仕の心」「福祉の心」「感謝の心」等の育成に努める。</li> <li>・ 児童理解を深め、いじめ・不登校及び問題行動等の未然防止に努め、心身ともにたくましい児童を育成する。</li> <li>・ 保護者と連携しながら、日常生活における望ましい基本的な生活態度や生活習慣形成の指導を徹底し、「当たり前前」のことが「当たり前」にできる力を育てる。</li> <li>・ 交通安全教室や避難訓練を通して、危険予測能力、危機回避能力を育成する。</li> </ul>
	6	学校は、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣いについて適切に指導し、児童にあいさつや礼儀についてよい習慣を身に付けさせている。	2.5	3.6	・ 登校時等、子どもたちが気持ちのよいあいさつをしている。	
	7	学校は、きまりの意味や大切さについて適切に指導し、児童にきまりを守る態度を身に付けさせている。	3.0	3.4	・ 地域の中で安全に気を付ける意識も高めてほしい。	
	8	学校は、清掃や当番活動・係活動の指導を適切に行い、児童の責任感・勤労意欲を高めている。	3.0	3.7	・ 奉仕作業や地域の清掃も参加する児童を増やしたい。	
	9	学校は、登下校や避難訓練など、適切な手立てをとり、児童に自ら考えて危険から身を守る態度を育成している。	3.3	3.9	・ 朝の登校指導、交通安全教室、年2回の地震・津波避難訓練で、よく指導されている。	
基本的な生活習慣の定着と安全意識・体力の向上	10	学校は、体育の授業や業間活動、体育的行事など、適切な手立てをとり、児童に運動に親しみ、体力を向上させようとする態度を育成している。	2.8	3.5	・ 持久走大会に向けた練習やなわとび運動など、体力を向上させる取組を確実にやっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育の授業や業間活動、体育的行事の工夫・改善を図り、基礎体力づくりと健康の保持増進、保健衛生の向上に努める。</li> <li>・ 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」への取組などを通して、児童のきまり正しい生活習慣づくりをさらに推進する。</li> <li>・ 「弁当の日」を実施し、食の大切さや家族への感謝の心を育む。また、食育を通して、食事についての正しい知識や、好ましい食生活の習慣・態度を育てる。</li> </ul>
	11	学校は、毎朝のチェックや歯みがき指導、家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」への取組などを通して、児童のきまり正しい生活習慣づくりを進めている。	2.8	3.4	・ 学校保健委員会等で、保護者に対しても生活リズムの大切さ等を啓発している。	
	12	学校は、給食指導や食に関する指導など、適切な手立てをとり、児童によりよい食習慣を身に付けさせている。	2.9	3.7	・ 食育の授業など、よく取り組んでいる。	
地域に誇りをもつとともに、将来の生き方について考えることができる児童の育成	13	学校は、細島地区の史跡や産業などを活用した授業を行い、児童の郷土を理解し、郷土を愛する心を育成している。	3.2	3.8	・ 細島港資料館、妙国寺、観音寺、官軍墓地、ふるさと学習でよく活用している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域とのつながりが強いという細島小学校の強みを生かし、細島地区の史跡や産業を活用するとともに、地域で働く方々、地域のために活動している方々などの協力を得た授業を充実させ、ふるさとに誇りと愛着をもち、自信をもって学び続ける児童の育成に努める。</li> </ul>
	14	学校は、地域で働く方々、地域のために活動している方々などの協力を得た授業を行い、児童に地域に誇りをもつとともに、将来の生き方について考える態度を育成している。	3.2	3.6	・ 細島は歴史のあるまちなので、地域の方が講師になる授業を増やして、さらに興味関心を高めてほしい。	
開かれた学校づくり	15	学校は、区長会、Hososhima まちづくり協議会との連携を深め、家庭や地域と一体となって、児童の健全育成を図りながら、地域に開かれた学校づくりを推進している。	3.4	3.8	・ ふれあい教室や昔の遊び体験学習など、地域の方々との連携を大切にされた教育活動がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区長会、Hososhima まちづくり協議会とは十分に連携を図っているが教育活動への保護者のかかわりが薄く、家庭を含めた協働が十分ではない。</li> <li>・ 学校運営協議会を中核としながらコミュニティスクールの取組を推進し、学校・家庭・地域が協働して児童の豊かな成長を支え、地域と一体となった特色ある教育活動を展開していく。</li> </ul>
	16	学校は、教育目標や学校の取組等の情報を、各種会合や学校だより、ホームページ等を通して分かりやすく伝えている。	3.0	3.9	・ 区長会での情報交換、学校だよりや案内文書等で、学校行事等の内容を地域にも伝えている。	
	17	学校は、参観日や学校行事の内容を保護者や地域の方との連携を目指して工夫し、計画的に実施している。	3.2	3.8	・ 参観日や学校行事への案内を地域にも行い、参観することができる。	

評価の観点	No.	評価内容	自己評価	学校関係者評価	学校評議員コメント	次年度に向けての課題・改善点
小中一貫教育の推進	18	富島中校区で作成しているグランドデザインの「目指す児童生徒の姿」について自校の教職員は全て共通理解している。	3.0	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域への啓発が不十分であった。年度当初に学校評価の項目として確認し、意図的・計画的な取組が進められるようにするとともに、「目指す児童生徒の姿」について学校運営協議会で共通理解した上で、学校だより、HP等を活用して、家庭・地域への周知を図っていく。</li> <li>共通実践事項が多く、それぞれの徹底が十分に図れなかった。共通実践事項の精選と重点化を図り、効果を上げたい。</li> </ul>
	19	富島中校区で作成しているグランドデザインの「目指す児童生徒の姿」について自校の家庭や地域もほぼ理解している。	1.9	—	—	
	20	富島中校区で作成しているグランドデザインの「目指す児童生徒の姿」を実現するために、小中共通して実践している事項がある。	3.3	—	—	
	21	小中一貫教育の取組によって児童生徒は確実に変容し、「目指す児童生徒の姿」に近づいてきている。	2.8	—	—	